

起業しました!



● **桑名明子さん** ● 1977年川口市生まれ。家事代行サービス「ママコス」代表。大学卒業後、大手通販会社に勤務し、2006年退社。結婚、出産後はパートやアルバイトを経験し、2007年に起業。

仕事の意味や地域とのつながりの大切さを実感

中央区で家事代行サービスの会社を経営する桑名明子さん。

桑名さんは、6年間勤務した通販会社を退職後、結婚。妊娠中も、必死に仕事を探しましたが、希望する仕事はなかなか見つかりません。「働くことが好きなので、妊娠中も働きたいと強く願っていました」

起業のきっかけは、雑誌で起業した女性の記事を読み、「若くても、女性でもできるんだ」と気づいたことでした。そこで、仕事がしたいのにできないという自分と似た境遇の女性を支援したいと考えるように

なり、2007年に家事代行サービスの開業を決意。自宅に電話を引いてホームページを作り、一人で会社を始めました。「休日は夫が子どもの世話をしてくれるなど、家族も理解してくれました」と話します。

自分ができる範囲で設定した手ごるなサービスは好評で、お客様は次第に増えていきました。「子どもを0歳から保育園に預け、必要以上に体調管理に気を遣う生活が5年。やっと基盤が整ったところ。事業が軌道に乗ったら、さらに仕事と生活をうまく両立していきたいで

仕事を続けていてよかったこと

人生を自分の力で歩いているんだ!と実感できること。起業後は、自分で考えたことを実行できることにやりがいを感じています。

働きたいと願う女性へのメッセージ

自分が何をしたいのかを明確にすることが重要です。周りや過去の自分にとらわれず、今の自分にできることを考えていきましょう。



▲作業伝票を確認しながら、一人ひとりのお客様の作業内容を、要望や近況の様子も含めて細かく打ち合わせします。

働く自分が好きになる! 再チャレンジの仕事発見 Point

- 1 踏み出す勇気を持つ**  
考えているだけでなく、自分ができるところから始める。相談に行くのも第一歩です。
- 2 柔軟な考えを持つ**  
子どもがいるから無理、年齢が…などと自分を縛らず、前向きに進むことが大切です。
- 3 目標を持つ**  
何年後はこうなりたい、と具体的な目標を持って行動することで、そこに少しずつ近づいていきます。

女性が再就職をするとき、どのように考え行動したらよいのか、自分が輝ける仕事を見つけるためのヒントをつかいました。

マザーズハローワーク大宮では、子育てをしながら働きたいと考えている方の就職をお手伝いしています。皆さんここに来てすぐに求人票をご覧になります。それは最後のステップです。まずは、保育園の確保ができていないか、正社員を希望しているかなど、その方の環境や希望を細かく聞きながら、子育てと仕事を両立するための条件や課題を整理することから始めます。

次に、職務経歴を書き出し、履歴書の書き方や面接の受け方などを習得した後、求人に応募していきます。

保育園を利用して働く関係から、土日休みで残業が少ない事務職を希望する方が多いのですが、最近はその状況の悪化から求人がかなり減っています。そのような中で納得できる仕事に出会うためには、自己分析が欠かせません。我々が面接の中で

気づいた各人の良さをフィードバックすると、皆さんそれが自信につながり、輝き、前向きになります。また、パートから始めて正社員を目指したり、パソコンやビジネススマナーなどの職業訓練を受けてステップアップする方法もお勧めしています。

あれこれ考えて目の前のチャンスを逃すのではなく、とにかく行動を起こすことが大切でしょう。

「育児や家庭と両立できる仕事を探したい」「出産や育児で退職したけれど、再就職したい」など、さまざまなニーズに応えています。

住所: さいたま市大宮区桜木町1-9-4  
エクセレント大宮ビル4階  
(大宮駅西口から徒歩5分、ソニックシティ向かい)  
電話: 048-856-9500  
利用時間: 平日9:00~17:00  
※火木9:00~19:00、第1・3土曜10:00~17:00  
休業日: 第2・4・5土曜、日曜、祝日、年末年始

パパ・ママの「働きたい!」を応援 [マザーズハローワーク大宮]



▲ゆったりと仕切られた相談窓口。専門スタッフ常駐のキッズコーナー、授乳室も完備。

通信員のコメント

梶田 範子さん

女性が再就職するためには、制度の充実のほかに、家族の理解と家事への参加が必要だと思います。また、一度家庭に入っても絶えず向上心を持ち続け、資格を取るなど勉強していくことが大切だと感じています。

小島 綾子さん

女性の再就職には、より一層家族の理解と協力が必要だと思います。子どもがまだ小さければ保育所への送迎、家事、仕事と息をつく暇もありません。家族で家事を分担できれば、再就職への意欲が増すと思います。

梶持 真里絵さん

育児休業が取りやすい環境、子どもの急な病気での早退なども周囲が受け入れ、妻だけが育児と家事をするのではなく、夫や子どもたちも参加することで再就職への希望が出てくるのではないのでしょうか。

小林 麻紗美さん

制度の充実に加え、病児保育など突発的な状況への対応がより厚くなればと思います。市外出身で頼れる人もいない中、子どもが熱を出したときには困りました。また、ベビーシッターなども利用しやすいと思います。

今回は、「働く自分が好き」というテーマで、イキイキと働く女性の声をご紹介しました。少子高齢化により労働力の減少が見込まれる中、大きな潜在力をもつ女性の活躍で経済を活性化させることへの期待が高まっています。また、各家庭においても、これまでのように男性の収入のみで家計を維持することが難しくなり、女性も収入を得る必要性が高まっている現状があります。

しかし、インタビューにもあるように、働くことは、単に経済基盤をつくるだけのものではなく、社会に参画し自己実現を果たすことにもつながります。そして、これは、性別にとらわれず一人ひとりが活躍できる男女共同参画社会の実現のために非常に重要な意味を持っています。

皆さんも、ひとりで悩まずに、周囲の協力や支援制度を活用しながら、新たな一歩を踏み出してみませんか?

